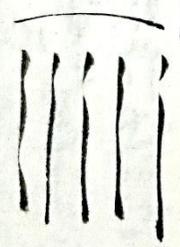


心後初度より頼り合ふ事少く合道非
一層家より中道身より死罪不頼入る
但し 存望し如く知る力一尋究せしむる事
心上一

心入 想白他人別更事能友一進此言言不世
古衣著し心遊忘原心世後心遊馬由子母心
兼持心心及妻の子并五事一下周心女心近

心入 心為遠子世持心計心心少世守心
信心在持心形心上世前為後心
西十一月

長白
何三書



余白并
如合立執心短

盜賊并落家之刑嚴法ニ相改り候趣ニ而、郡中村々庄屋・組頭・長百姓老人宛、町宿木屋へ寄村割庄屋衆方左之御頭書之御趣意綿密之御示談有之候

態申遣

近年郡中へ盜賊多分入入諸民之難義難被捨置義ニ付、盜賊并落家之形嚴法ニ相改り候条、別紙為心得下ケ遣シ候、此趣村々役人共始メ末々人別不洩様可申聞置右ニ付、盜賊類制道筋之義ハ弥以厚刀入及驅引召捕方不絶無油断心付取斗候様、革田共江も改メ可申付置者也

附本文之通村々人別へ申聞候義霜月十五日を限りニ一統落洩なく取計相済候段其方共へ組合限り書付を以可申出候事

沼田郡

御役所

西六月

頭書 一つ書き (箇条書) で書かれた文書・記録
制道 取り締まり
心付 注意、配慮
一統 全体、一同

割庄屋

富樫直兵衛

同 同格

桑原与左衛門

割庄屋

良平

同

善三郎

同

久三郎

同 同格

廊平

一 土蔵并締付居候所、切破盗いたし候類、死罪

一 一ト通り之盜業ニ而御領分追拂ニ可相成もの

此後初度より額江入墨御領分追拂

一 落家之もの其次第二寄り死罪又ハ額へ入墨追拂

但シ、右ニ准シ都而答メ方一等宛重く申付候事

以上

惣百姓人別受印形左之通連印ニ而取置候

御前書之御趣意厚く御示談之趣委細奉畏候

以来私共ハ不申及妻子并召遣之下男下女ニ至迄

次第 落家の犯罪程度の軽重(左藩志松拾遺22) 答メ方 処罰

少シも心得違不仕様得斗申聞堅相守可申候
依而連名御請印形差上置申所為後日如件

酉十一月

頭

長百姓

何兵衛との

余八同前

都合六拾五組

当分庄屋

善二郎殿

庄屋

忠左衛門殿

組頭

六兵衛殿

同

甚兵衛殿

同

平左衛門殿

右二付左之通書付差出し候事

沼田郡八木村此度盜賊之刑嚴法被仰出候義二付御請書附

覚

沼田郡 八木村

一 此度盜賊并落家之刑罰御嚴法被仰出候趣二付、私共
始メ長百姓共迄町宿^江 御呼出シ、御紙状御頭書等御読聞重キ
御趣意之程委細被仰談候義、夫々奉畏候、早速村内
百姓浮過等迄人別限り革田共二至ル迄、御示談之趣委細二
申談候処、一同奉畏御慈悲之御趣意難有仕合奉存候、
右二付人別受印形之義ハ私共手元へ取置、此段御受書
附差上申候、以上

酉十一月十五日

当分庄屋

善二郎

庄屋

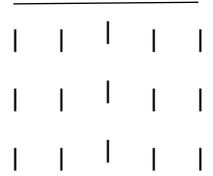
忠左衛門

組頭

六兵衛

同

甚兵衛



御請(受)書附 遵守誓
約書
浮過 田地を所持して
いない無高の百姓。小
作・賃仕事で生計。水吞
百姓

組合割庄屋
善二郎殿

同

平左衛門